

## キャンパス植物のご紹介

2020.4.13



①

### スイセン *Narcissus* cvs. (ナルキッス) ヒガンバナ科

淡路島の南の方に有名な水仙郷があります。最も早く咲きだす小さめの房咲きのニホンスイセン①でいい香りがします。キャンパスにもたくさんありますが今年の花は終わってしまいました。春咲きの球根植物の代表種です。

スイセンは中心の筒のようになった部分を副花冠といいますが、その部分の長さによってラップスイセン②、大杯スイセン、八重化した八重咲きスイセン④、副花冠の縁が赤味のあるクチベニスイセン⑤など品種もたくさんあります。

今年は例年より1週間くらい早く開花しています。

今、キャンパス内では⑤がまだ見られると思います。

葉がニラに形が似ているので毎年誤食の事故があります。スイセンは毒がありますので決して食べないように！

学名はギリシャ神話のナルキソス美少年に由来。  
ナルシストですね。



②



④



⑤



③



### スノーフレーク *Leucojum aestivum* (レウコユム アエステイブム) ヒガンバナ科

キャンパスのあちらこちで見られます。もうそろそろ終わりです。

放任していてもよく殖え丈夫な球根植物です。スイセンと同様、有毒ですので注意。

6枚の花被片の先端に可愛い緑の点模様がありますよ。



### ムスカリ *Muscari armeniacum* (ムスカリ・アルメニアクム) キジカクシ科

丈夫でよく殖える球根植物。写真のものが最もオーソドックスな品種。白花や薄い水色の品種などもあります。壺形の花がたくさんついており、ブドウの房のようなので英名はグレープヒヤシンスといいます。良い香りがします。キャンパス内のあちこちに見られますが、まもなく開花は終わります。



### ヒマラヤユキノシタ *Bergenia stracheyi* (ベルゲニア・ストラケイ) ユキノシタ科

寒さ、乾燥に強い常緑の多年草です。大きなつややかな葉は特徴的です。

春早くからピンクの花をつけ、長く楽しめます。濃色や白花の品種もあります。ガーデニングでは近年和名より学名のベルゲニアの名で販売されていることもあります。



**バイモ** *Fritillaria thunbergii*

(フリテイリア・ツンベルギー) ユリ科

花の内側に網目模様があり、アミガサユリという別名もあります。細い葉の先端はくるっと巻いていて可愛いですよ。高山植物で有名なクロユリも同じ仲間です。

夏の暑さにはやや弱いので、涼しめの所で育てます。球根植物。



**クリスマスローズ** *Helleborus × hybridus* (ヘボルス・ヒブリドゥス) キンポウゲ科

ガーデニングには欠かせない人気の園芸植物。本来クリスマスローズはこの仲間の内、クリスマス頃に開花するヘレボルス・ニゲルをさしますが、現在流通している



ものはいくつかの原種を掛け合わせて改良したハイブリッド品種が主流です。

花のように見える部分は萼片で、本来の花はおしべの元にある筒状の蜜腺(矢印)と呼ばれるものに退化しています。萼片と中心のめしべが長く残ります。

常緑多年草 有毒植物です。



**ツルニチニチソウとヒメツルニチニチソウ** *Vinca major* と *Vinca minor* (ビンカ・マヨル、ビンカ・ミノール)

キョウチクトウ科の常緑つる性草本です。①がツルニチニチソウ。②はヒメツルニチニチソウの黄色斑入り品種。③は両者を比較したもの。左が①、右が②で、葉も花も大きさがかなり違います。④は①の白斑入り品種です。

丈夫でよく広がり、グランドカバーに使われますが、殖えすぎるので注意が必要です。

葉や茎をちぎると、白い乳汁がでますが、これはキョウチクトウ科の特徴でもあります。この乳汁はかぶれをおこしたりするので要注意です。

# 見られる場所マップ

2020. 4. 13

- ・示した場所以外にもあちらこちらに見られる種類もあります。
- ・気温が上がると一気に花が進んで終わってしまう場合もあります。
- ・今回に紹介種は、開花が進んでいますので見たい方は早めに見てください。
- ・スイセンは全体にほぼ終わりで、クチベニスイセンが赤丸印の所に固まってみられます。その他の場所でスイセンの花を見かけたら、ぜひ近寄って、花の形や咲き方色などの違いを見てください。
- ・緑色の印はクリスマスローズです。

